

製品名: AKAP 13 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06719**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	307kDa

抗原情報

遺伝子名	AKAP13
別名	AKAP13; BRX; HT31; LBC; A-kinase anchor protein 13; AKAP-13; AKAP-Lbc; Breast cancer nuclear receptor-binding auxiliary protein; Guanine nucleotide exchange factor Lbc; Human thyroid-anchoring protein 31; Lymphoid blast crisis oncogene; LBC
遺伝子 ID	11214.0
SwissProt ID	Q12802
免疫原	抗血清はヒト AKAP13 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 721-770

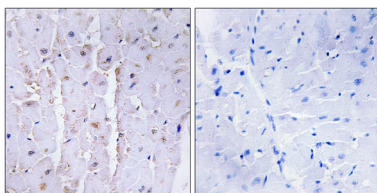
背景

Aキナーゼアンカータンパク質 (AKAP) は、構造的に多様なタンパク質群であり、タンパク質キナーゼ A (PKA) の調節サブユニットに結合し、ホロ酵素を細胞内の特定の場所に限定するという共通の機能を有する。この遺伝子は AKAP ファミリーのメンバーをコードしている。この遺伝子の選択的スプライシングにより、C 末端に dbl 癌遺伝子相同性 (DH) ドメインとプレクストリン相同性 (PH) ドメインを含む異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じる。DH ドメインは、Rho/Rac ファミリーの低分子 GTP 結合タンパク質のグアニンヌクレオチド交換活性化に関与しており、不活性型 GTPase をシグナル伝達能を持つ活性型へと変換する。PH ドメインには複数の機能がある。したがって、これらのアイソフォームは、Rho シグナル伝達経路を調整する足場タンパク質として機能し、タンパク質キナーゼ A アンカータンパク質として機能し、さらに、次の機能も備えています。:ここで示す配列は、Ensembl 自動解析パイプラインから取得したものであり、予備データとして考慮する必要があります。、ドメイン:DH ドメインと PH ドメインの両方が形質転換活性に必要です。、機能:cAMP 依存性タンパク質キナーゼ (PKA) をアンカーし、G α -13 と Rho を選択的に結合させるアダプタータンパク質として機能します。要素特異的かつリガンド依存的に、エストロゲン受容体による遺伝子活性化を促進します。p38 MAPK 依存経路によってエストロゲン受容体ベータを活性化します。アイソフォーム 6 は、in vitro で Rho タンパク質の交換活性を刺激しますが、CDC42、Ras、または Rac に対しては刺激せず、カルシウムイオンと結合する可能性があります。、類似性:1 つの DH (DBL 相同) ドメインを含みます。、類似性:1 つの PH ドメインを含みます。、類似性:1 つのホルボールエステル/DAG 型ジックフィンガーを含みます。、サブユニット: cAMP 依存性プロテインキナーゼ (PKA) および PKA の RII- α 調節サブユニットに結合します。ESR1、ESR2、THRA、PPARA、RHOA、および NME2 と相互作用します。、組織特異性:アイソフォーム 3 およびアイソフォーム 6 は、造血細胞、骨格筋、肺、心臓、乳管上皮を含むエストロゲン応答性生殖組織に存在します。また、精巣および乳がん細胞株にも存在します。アイソフォーム 6 は、脳、胎盤、肝臓、膵臓、腎臓には存在しません。アイソフォーム 7 は、骨髄系およびリンパ系、様々な上皮組織、骨格筋に発現しています。アイソフォーム 2 は主に心臓に存在し、肺、胎盤、腎臓、膵臓、骨格筋、肝臓にも少量存在します。

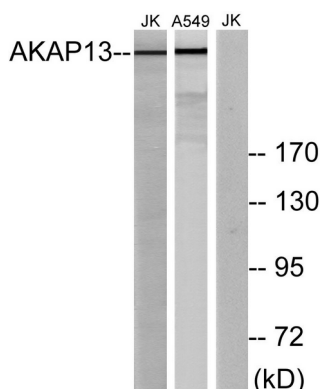
研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

画像データ



AKAP13 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



AKAP13 抗体を用いた Jurkat 細胞および A549 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。

